



毎年恒例だった草ぶえの丘(合宿)の取り止めに決定しました。うさぎぐみはそれに対して説明会が開かれ、ひばりぐみ、ももぐみでは担任の先生からクラス会で説明がありました。各クラスで情報の偏りを統一するため、誌面に残すことになりました。なお、それにもない、ひばりぐみの母から質問を募り、併わせて聞きました。保育者からの回答は以下のとおりです。

⑥ 時期をずらし(夏休み中やその二日間)に年少・年中をお休みにするなどは行かぬ? 保育者の数も増やせばいい? お泊り保育は難しいのでは? かな?

⑦ くらみえんで過二泊日を作ることはよく、子どもにとっても良いこと、成長があると思いませんか? かな?

⑧ この決定は北橋果・上野動物園に行く機会もなくなるに思いました。そうすると子ども達も(公共のルールやマナー)の機会が、くらみえんではなくなってしまうと思うのでこれに対してどう考えていますか?

⑨ 4月のクラス会では行く予定だったのに、なぜ突然中止になったのでしょうか?

⑩ 中止が決定するまでの短期間で保育者同士十分に議論を尽くせたのでしょうか?

社会はいつの時もどんどん変わっていきます。多様で便利になる一方、どこか厳しくきゅう屈にも感じませんか? 弱者一特に子どもに対する見方が変わりました。失敗せぬよう大人が先回りしたり、早く成果を上げることが良しとされたり、生活全般が便利になって加えて大人の手も多く、また映像などにより、子どもの特権である子ども自ら試行錯誤して経験することがどんどん奪われています。強い不安を感じる子どもも増えているように思います。子どもの個性や背景も様々で「普通」や「一般的」とひとくくりにはならないように感じます。

草ぶえの丘合宿の中止を決めたのは、二つの状況があったことからです。一つは合宿保育は一泊ではありましたが、その子の生活を預かるということ。子どもたちが無理なく楽しめるように長年内容も考えられてきましたが、先のように子どもの状態の変化、社会経験の少なさ、強い不安を持つ子、多様化する生活にも合わせていくことに年々大変さが増してきました。

施設的环境も観光地化され、利用についてもかなり変わり、私たちには利用しづらくなってきました。このようなことから、年々合宿の目的とのズレを感じてきました。二つはコロナ禍の過去2年間、保育者が責任を持って預かることができない状況となり、それに変わる今の子どもに合った楽しい行事を考えたいこと。子どものとり組みからの充実感や、「いっしょうわすれない」という言葉や卒室式の呼びかけでは「もういちどやりたい」などあって、保育者会でも手ごたえを感じました。今年度コロナの状況も変わり、当初は合宿をやる予定でした。ズレを感じているとはいえ、長年行ってきた保護者も楽しみにしていた行事だからです。しかし年度が始まり、在室の子どもたちの状況を鑑み、この子どもたちによりよい行事はなんだろう? と考えました。大人はズレを感じながら、子どもたちは用意された環境で大人が計画した内容を楽しむことよりも、みんなが楽しめることを自ら考え、準備し、実行するという経験こそが大事なのでは、と話し合いを重ね、行事を変更することにしました。

日々の保育でも、子どもたちの状態から最適な保育を考えて変えてきたところもあります。例えば、春の遠足は中長組だけ、中長組合同の朝の会や当番活動も2学期以降に時期を遅らせました。秋の上野動物園の遠足は、年長組が運動会の余韻を楽しんだり、動物園の取り組みをゆったりと行うには忙しい、それに子どもたちにとって新鮮味が薄くなっていると、保育者会で以前から挙がっていました。ここ何年かの3学年全体の動きを遅らせたことで増々難しくなってきました。またコロナ禍の2年間、3学年で21世紀の森に遠足に行ったことは、どの学年にとっても楽しい目的である「異年齢のかかわりの充実」を無理なく経験することができました。上野動物園の中止についても草ぶえの丘と同じような流れです。

年度途中での年間行事の変更ということ、そしてそれに対する他学年への説明が尽くせていなかったとも思います。保護者が経験させたい楽しい行事だと理解しています。しかし、「子どもにとってよりよい保育を考える」というくらみえんの保育の原点に立ち戻り考えた結果です。くらみえんが目指す保育は変わりません。その時通っている子どもにとってよりよい保育をこれからも考えていきたいと思えます。 保育者会。

① 子どもの性質の変化は具体的にどういうことですか?

② いっぽうから草ぶえの丘に行くことの難しさを感じたのですか? また、その難しさを当時の保護者には伝えたいのですか?

③ 先生たちにとって、草ぶえの丘に一泊するという保育はどのようなものだったのですか? 最近では、大変だったけれど、やっぱり良かった等、子どもの後日の様子を見て、達成感等はなかったのでしょうか?

④ お泊りの良さ、くらみえんで過二泊日の良さ、両方を取り入れることはできないのでしょうか?

⑤ 草ぶえの丘とくらみえんで過二泊日と得られることの違いは何でしょうか?

何か気になることがある方は、担任の先生に聞いてね!

準備段階の時点から、子どもがワクワクしているのが伝わってきました。

うちは家庭の方針で食に面が、必要なので、その点かとても気がかりでしたが、息子のみんよと一緒に楽しむにはどうしたらいいか？先生からたくさん提案して頂き当日は何の不安もなく参加することができました。一人一人のことを大切に考えて頂き、みんなが楽しめる方法を考えた上で、ママとしてとても嬉しく、これこそ、みんなの良さを改めて感じました。

そして、当日のお迎え時、皆全体で楽しかったと表現する子どもたちの姿を見て、先生方も全力で楽しんでくれたからこそ、こんな素敵な良い会になったんだなと思います。

お土産の宝物も家に帰ってから大切にしまっていた息子。5個の宝物を姉と弟、夫と私に1つずつ配ってくれました。家族みんなと共有したいほど楽しくて、一生忘れられない思い出になったのじゃ。

子どもたちのためにご尽力くださった先生方、本当にありがとうございました。

(うまぎぐみ 杉本 真弓)



2022.7.15

子どもたちが全かど楽しんでいて、とても印象的でした。今でも当日のことを話したり、作ったおみやげ、もらった宝物を大事にしています。それ以降の遊びにも繋がりました。おぼけ改良版を作ったり、宝物で違う遊びを考えたり。予定を考えると楽しかったのが、自分でタイムスケジュールを考えるようにになりました。楽しかったことを日々の生活に活かして、子ども、てすごいなあ、良い経験になったんだなあと、その姿を見る度に、嬉しく思います。

その当日の楽しさだけでなく、仲間と話し合い、作り上げ、実行するという経験が、子どもにとって良い刺激として成長に繋がりました。貴重な体験ができて、大切な思い出の1つが増えたこと、ありがたい気持ちでいっぱいです。

(うまぎぐみ 片山 未来)

うまぎぐみの大人の日

今年のうまぎぐみだけの特別な一日は、戻り梅雨？の大雨のおかげで、うらめしく空を見上げているママ大人が！子どもたちは他のクラスの子が誰もいない教室を探検して、計画していたおぼけやしき作りの雰囲気にはまって来いのうす暗い教室でキラキラと光輝いていました。



ほっと息を吐くコーナー

文子、コレートがまいにちたべたいです

文子、うになりたい

文子、ママにあいたいなら

文子、あんなにいいかいだすじゃなくって、とママとあそぶ場所は

文子、あんなにいいかいだすじゃなくって、とママとあそぶ場所は

文子、あんなにいいかいだすじゃなくって、とママとあそぶ場所は

文子、あんなにいいかいだすじゃなくって、とママとあそぶ場所は

合同クラス会 2022.9.29

合同クラス会が3-18 業所にて

合同クラス会とは、せ、かくくみえんに集った母は1学年の垣根をこえて集るには、おぼけやしきを作りたい、クラス会が拡大です。今回はどんな様子を撮影して？ クラス委員の中山さんにお話を聞きました。

参加して下さる方も！

★今回はどんな風にグループ分けをしたらいいですか？

下の子がいるグループ、上の子がグループ、上にきょうだいがいるグループに今回わけをしてみました。

同じような家庭で育てているお母さん同士の話し合いが、どんなかんじですか？

自分では気づかないことを発見できたと思います。

堅苦しい雰囲気ではなく、おたががにわきあいあいとしておはなしできたと思います。

参加された方、楽しめましたか？参加されなかった方、次回お待ちしております。



--- 編集後記 ---

人生初の広報委員会と委員長をやらせて頂いています(名ばかりです)絵心、書字が共に皆無、現メンバーに頼りっぱなしです。そんな自分でも広報や花子と☺️と言う事を示すことで、良い意味でハードルを下げ、委員会活動をしやすい雰囲気にはなれたら嬉しいです。ぜひ今までの広報母たちの地道かつパワフルな活動に脱帽、感謝!!

